

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		通常砂防		路河川名等	大月川		
事業毎の通番		2	市町村名	小海町	箇所名(ふりがな)	芦平(あしだいら)	
事業概要	事業目的	小海町の南部に位置する大月川は、一級河川千曲川へ流入する。平成27年11月30日の土砂崩落により、不安定土砂が堆積しており、斜面の荒廃により大雨時における土砂流出が懸念されている。このことから、土砂災害防止のための法面対策及び砂防堰堤嵩上を施工することにより、第1次緊急輸送路である国道141号と人家16戸の保全を図る。					
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	地域防災力の向上		事業実施の根拠法令等	砂防法		
	関連する事業、計画等						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	国道141号(第1次緊急輸送路)、人家16戸、村道					
	着手年度	平成28年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	2.9	国庫	その他	県債 一般財源
	全体事業内容(主な工種)	砂防堰堤嵩上工1式、法面工1式			400,000	200,000	180,000 20,000
年度事業内容(主な工種)	平成28年:測量・調査・設計、用地測量・用地補償、本工事			120,000	60,000	540,000 6,000	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	国道141号(第1次緊急輸送路)、人家16戸、村道					
	間接的効果(定量的・定性的)						
評価の視点	必要性	【保全人家戸数】人家16戸 【保全公共施設】国道141号、村道 【要配慮者利用施設】なし 【避難路】国道141号(第1次緊急輸送路)保全				評価	A
	重要性	【災害履歴】平成27年11月30日災害あり 【交通影響】交通遮断による地域経済への影響:国道141号 【位置付け】地域防災計画上の位置づけ:長野県地域防災計画(国道141号)				評価	A
	効率性	【費用対効果】費用便益比(B/C):2.9 【早期効果発現】事業期間:4年間 【工法等比較検討】工法等の比較検討:工法検討あり 【総合調整】治山事業と調整中				評価	A
	緊急性	【地形地質】流域の地形、地質:火山噴出物 【流域植生】その他 【平均河床勾配、土砂整備率】平均河床勾配:1/11・整備率:76.5% 【危険地区】指定なし				評価	B
	計画熟度	【情報共有】平成27年12月5日、20日、27日説明会実施 【地域要望】地域住民と小海町より要望あり 【合意形成】整備手法について合意形成が図られている 【住民参加】なし				評価	B
	部意見	当該溪流の保全対象には、第1次緊急輸送路である国道141号があり、早期に土砂災害対策を行う必要がある。	行政改革課意見	流域内に不安定土砂が堆積している。保全対象には人家、緊急輸送路である国道141号、村道があることから、重要性が高く、必要性が認められる。	評価結果	○	総合評価

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)			
事業周辺環境	【整備の必要性がわかる状況写真等】			
	①土砂崩落状況	②土砂崩落状況(下流より)	③上流荒廃状況	
	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	平成27年11月30日に発生した土砂崩落により、崩落土砂が河道内に堆積し、出水により流出する恐れがあること、土砂が崩落した斜面が不安定となっており、放置すると斜面崩壊が拡大する恐れがあることから、土砂流出と崩壊を防ぐため、事業を計画することとなった。		
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成27年11月30日の土砂崩落発生直後、斜面上部の住民が一時自主避難を行っており、早期の斜面対策が望まれている。		
	③事業説明等の経緯	平成27年12月5日、20日、27日に説明会を実施し、施工工法、施工期間等について説明を実施している。		
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連			
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	周辺環境への影響を抑えることを念頭に砂対策工事を進める予定である。			
⑥地域活性化への影響と配慮	砂防事業により、地域住民の安全・安心を確保するとともに、災害のない地域づくりを推進し、地域の活性化を図る。			
⑦その他	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36-2-33.91 東経:E 138-32-48.33		